

# 支部だより

平成 24 年  
3月1日(木)  
第 7 号

## 会員 だより



座波建設株式会社  
代表取締役社長 座波 博史

### 我社安全のシンボル「金比羅宮」!

これは、我社の創始者の座波政福が、昭和 45 年に、香川県に在る金比羅宮本尊より正式に分身して頂き、お宮として浦添市港川(陸運事務所近、座波グループ研修所)にお奉りしたものです。当時は輸入関税がかかり、櫛(ケヅ)創りのお宮様を「家具」として税関を通過させたようです。我社では、毎年この「金比羅宮」において、春(3月10日)と秋(10月10日)の年2回、安全祈願のために例大祭を執り行なっています。特に秋10月の例大祭は、「座波建設安全の日」と定め、協力業者も含めた安全大会として開催をしています。我が社及び協力会社の安全のシンボル「金比羅宮」今後とも我が社の宝、誇りとして大切に守り続けていきたいと思っています。

話題は変わりますが、我が社に久々の嬉しい出来事がありました。工事部の多和田真彦君の写真が沖建協青年部会フォトコンテスト人部門において最優秀賞の栄冠に輝きました。この場を借りて紹介をさせていただきます。

「金比羅宮」  
毎年春と秋の2回  
安全の例大祭を行います



沖建協青年部会  
フォトコンテスト  
「人部門」  
☆最優秀賞  
  
多和田 真彦  
タイトル『微調整』  
(船舶職員の真剣で  
緊迫感の有る作業  
の様子)

## 会員 だより



世紀東急工業(株)  
沖縄営業所長 田崎 章

### これでも「そば」ですよ!

会員の皆様こんにちは!  
今回は、沖縄営業所一の美人?が当営業所と所在地の金武町について現地から報告します。沖縄営業所が開業されて今年で丁度40周年を迎えます。つまり、沖縄が本土復帰をした年に開設されたということになります。その間、沖縄営業所も那覇市から浦添市そして1年前に元々合材プラントのあった金武町に移転してきました。金武→山原→遠いとイメージされがちですが、那覇からは沖縄自動車道を利用して45分、渋滞も無く、空気はきれいで、静かで、金武湾、伊計島、平安座島の眺めは絶景で、まさに「住めば都」です。また、金武町はタームとその加工品で大変有名ですが、それ以外にもおいしい食べ物が沢山あります。その一つが、ぎんばる食堂の『やさいそば』です。上に乗っている大量の野菜炒めのせいで、その下にある「そば」が全く見えません(笑)。ボリューム満点で「働くおじさんの」胃袋だけでなく、私の胃袋も満たしてくれました。

年度末は猫の手も借りたいと思うほどの忙しい時期になりますが、おいしいものを食べ、元気を出して、そして『安全第一』で頑張りましょう。  
文・写真 匿名希望 E・S

ぎんばる食堂名物「やさいそば」  
おいしそう! でも~ ヘルシーorメタボ?  
答えは、「私と所長を見ればわかりま〜す」



## 活動報告・ トピックス



### ①第67回 道路美化・清掃活動

平成23年度最後のボランティア  
一年間お疲れ様でした!

平成 23 年度最後となる、通算 67 回目の 道路美化・清掃活動を 2 月 21 日(火)に行いました。雨勝ちで天候不順の日々が続いていましたが、当日は風が少し強く曇天でしたが、暖かく、清掃には良い天気となりました。今回は、巨人軍の那覇キャンプが始まり、又、当日が楽天との練習試合で無料開放ということで、交通量、歩行者が多く渋滞も有る中での作業となりました。その成果は、写真のとおりで前回同様大量のゴミを収集しました。人の心は見えないけれど、その姿はその人の行いに現れます。我々の美しい心の姿を多くの方が目にしていた事と思います。また、ゴミ袋の中には醜い心が恥と共に入っています。次回は 4 月 17 日(火)、春の大掃除です。



今年度最後のゴミ拾い! お疲れ様でした!

醜い心を沢山回収しました!

●活動参加状況(後半グループ)

1	(株)高橋土建	2名
2	(株)渡嘉敷組	0名
3	仲程土建(株)	1名
4	(株)南海建設	0名
5	南部舗道(株)	1名
6	南洋土建(株)	1名
7	日本道路(株)	1名
8	(株)NIPPPO	1名
9	前田道路(株)	1名
10	牧港建設(株)	1名
11	(株)丸元建設	1名
12	(株)屋部土建	1名
13	琉球開発(株)	1名
計	参加社 11社/13社	12名

## ちょっと"講釈"

### 備え有れば憂い無し!

3月11日、東北地方を襲い2万人もの犠牲者を出した未曾有の大震災から一年を迎えます。ここに来てやっと被災地の生活も落ち着き、復興の槌音も聞こえてくるようになりましたが、昔の姿を取り戻し完全に復活を遂げるにはまだ長い年月要するのは明らかですが、一日も早い復興を願わずにはおられません。

しかし、このような大震災でも年月が経つにつれて「喉元過ぎれば...」の通り、だんだんと人々の危機意識が薄れていくのも仕様が無い事であり、被災地から離れるほど、安穏とした生活に漬かってしまうのも仕方の無い事だと思います。

さて、防災に関する格言で頭書の「備え有れば憂い無し」と言う言葉はよく耳にし、又口にする事と思いますが、この格言は単独では無く、下記で紹介しているように、3段構成で成り立っております。最初の句が「平穩無事の時に万一の危難を忘れず油断してはならない。」と言う安穩と暮らしていくことへの戒めの言葉となっています。企業の経営も同様です。順風で勢いに乗っている時こそ逆風への思いを巡らし、備えをしておく事が肝要ではないでしょうか。一度は下記の文言を声を出して詠んで下さい。

居安思危  
安きに居ては危うきを思え。  
思則有備  
思えば則ち備えあり。  
有備無憂  
備え有れば憂い無し。  
出典「書経」  
「左氏伝」

### 今月の主な活動予定

- ① 3月1日(木)：第3回技術・積算委員会  
11:00～13:00 於：事務局会議室
- ② 3月2日(金)：第3回企画・広報委員会  
11:00～13:00 於：事務局会議室
- ③ 3月6日(火)：第3回安全委員会  
11:00～13:00 於：事務局会議室

